

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第1号を送付します。

令和8年度病虫害発生予察注意報第1号

令和8年4月30日
高知県病虫害防除所長

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)

1 対象作物 果樹全般(ウメ、モモ、スモモ、ナシ、カンキツ類、ビワ等)

2 発生地域 県内全域

3 発生時期 5月上旬以降

4 発生程度 多

5 注意報発令の根拠

(1) 県内4地点で実施している果樹カメムシ類のフェロモントラップ調査における4月第1～第4半旬の誘殺数は、全地点において平年を上回る発生が見られ(表1)、特に西部での発生が顕著である。

予察灯における4月第1～第4半旬のツヤアオカメムシの捕獲数は、南国市4頭(平年 0.4 頭)、四万十市7頭(平年 0.3 頭)と平年と比べ多い(データ省略)。

県西部の果樹園地では、既にほ場内でカメムシが散見され、薬剤防除を行っているという情報が寄せられており、小夏で果実にカメムシが寄生している状況も確認されている。

(2) 「高松地方气象台」による令和8年4月23日発表の四国地方1ヶ月予報では、向こう1ヶ月の気温は平年より高くなる可能性が高いと予想されており、今後果樹園への飛来および加害が増加するおそれがある。

6 防除対策

(1) 園地への飛来は、曇天で湿度が高く夜温の高い日に多くなる傾向がある。今後、気温の上昇に伴い活動が活発となり、ツヤアオカメムシ(図1)、チャバネアオカメムシ(図2)などが果樹園(ウメ、モモ、スモモ、ナシ、カンキツ類、ビワ等)に多く飛来する可能性があるため、園地への飛来状況を早期に把握し、被害防止に努める。

(2) 花、幼果を吸汁されると落果するので発生を確認したら早めに防除する。果樹カメムシ類の飛来時期、

飛来量は地域や園地による差が大きいので、園内外をこまめに見回り、早期発見に努めるとともに、飛来が確認された場合には、速やかに薬剤による防除を実施する。

- (3) 果樹カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数の推移は、高知県病害虫防除所のホームページ (<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>) に掲載しているので、果樹園での発生の参考にする。防除等は県防除指針(高知県農業情報システム(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>))内に掲載)を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、農薬使用基準を遵守する。

7 他県の状況

令和8年4月27日現在、和歌山県、佐賀県で注意報が発令されている。

表1 果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数（4月第1半旬～第4半旬）

調査地域	月	4月					計
	半旬	第1半旬	第2半旬	第3半旬	第4半旬		
東部	本年	0	4	4	2	10	
	平年	0.5	0.5	1.1	1.4	3.5	
中央部	本年	5	6	5	6	22	
	平年	0.3	1.1	0.7	1.2	3.3	
中西部	本年	14	18	16	11	59	
	平年	7.7	4.2	9.1	11.8	32.8	
西部	本年	22	97	80	30	229	
	平年	5.5	1.2	0.9	4	11.6	

誘殺数は、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの合計数

東部：安芸市井ノ口 中央部：香美市土佐山田町宮ノ口 中西部：須崎市浦ノ内、西部：四万十市竹島

平年値は、平成27年～令和5年、令和7年の10か年の平均



図1 ツヤアオカメムシ



図2 チャバネアオカメムシ

お問い合わせは、病害虫防除所(TEL：088-863-1132)または環境農業推進課(TEL：088-821-4861)まで